

エポニックス#10

EPONICS#10

常温乾燥形エポキシ樹脂系防食塗料

大日本塗料株式会社

エポニックス#10

常温乾燥形エポキシ樹脂系防食塗料

エポキシ樹脂の持つ広範囲の特性のうち、特に密着性と耐薬品性に優れ、標準膜厚を30 μ m(1回塗り)とするエポキシ樹脂系塗料の標準品です。

特長

1. 各種素材に強く密着

鉄部をはじめ、軽金属・プラスチック・木部・モルタル・コンクリートなど、各種素材に密着します。

2. 強い耐薬品性

各種薬品に対して強い塗膜をつくり、優れた防食効果を発揮します。(黄・オレンジ系は特に強い薬品雰囲気では変色することがあります。強い薬品雰囲気に塗装する場合にはあらかじめお問い合わせ下さい。)

3. 美装性も兼備

塗膜は肉持ちがよく、上塗りは光沢に優れ、美装仕上げも可能です。

4. 塗りやすい品質設計

刷毛・エアスプレー・エアレススプレーのいずれでも塗りやすく設計されております。

5. グリーン購入法適合下塗塗料

「エポニックス#10下塗」は、グリーン購入法(下塗塗料:重防食)に該当します。

6. 有害重金属(鉛・クロムなど)フリー

用途

耐薬品環境・つや有り仕上げを必要とする箇所(主として非没水部)

例) 一般の化学工場・鉄骨・機器・配管類・プラント類 など

没水部については別のシステムを推奨します。詳しくはお問い合わせ下さい。

※上記以外の用途に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

種類

商品名	色相	容量
エポニックス#10 上塗	白・各色	16kgセット(主剤12.8kg、硬化剤3.2kg) 4kgセット(主剤 3.2kg、硬化剤0.8kg)
エポニックス#10 下塗	赤さび色・ねずみ色・白 [※]	
エポニックス#10 クリヤー	クリヤー	16kgセット(主剤8.0kg、硬化剤8.0kg)
エポニックス#10 上塗 シルバー	シルバー	16kgセット(主剤6.4kg、硬化剤6.4kg、アルミペースト3.2kg)
エポニックスシンナーA	—	16L、4L

注)特に強い酸性雰囲気で使用される場合にはエポニックス#20上塗を推奨します。

※ 白については16kgセットのみです。

標準塗装仕様

工程		塗装回数	作業内容	塗装間隔 (20℃)	標準使用量 (g/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)
1	素地調整	—	ブラスト処理、またはこれと同等の処理を行い、さび・油脂・塵埃・水分などを除去して被塗面を清浄にし、直ちに塗装する。(ケレングレードは、ISO-Sa2½以上とする)			
2	エポニックス#10 下塗	2	主剤80部、硬化剤20部を十分に混合、攪拌し、エポニックスシンナーAを適量加えて塗装する。	12時間以上 7日以内	110~150	30
3	エポニックス#10 上塗	2	主剤80部、硬化剤20部を十分に混合、攪拌し、エポニックスシンナーAを適量加えて塗装する。	16時間以上 7日以内	120~160	30

上記使用量は標準値であり、素地の状態、塗装法により異なることがあります。

塗装上の注意

素地調整

被塗面のさび・油・湿気・塵埃・水分・その他の有害な付着物を完全に除去して下さい。エポキシ樹脂塗料は、素地調整の良し悪しが特に性能に影響しますので、ISO-Sa2½以上の素地調整を行って下さい。

主剤と硬化剤の混合

使用時に規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にして下さい。混合比を間違えますと、塗膜性能が十分に発揮できないばかりか、塗膜が硬化しないことがあります。

可使時間

主剤と硬化剤の混合後は、可使時間内に使いきって下さい。硬化が進んだ塗料は、シンナーを加えても使用できません。

塗装間隔

エポキシ樹脂系塗料は、塗装間隔が規定以上に長くなると、密着不良となります。尚、規定以上経過した場合は、塗装表面をサンドペーパーなどで研磨し、さらにウエスで拭いてから塗り重ねて下さい。

また、エポキシ樹脂塗料は低温になると硬化が著しく遅くなり、5℃以下の環境では硬化が遅れるので注意して下さい。この様な場合には、塗り重ね間隔をさらに延長して下さい。

塗装方法

美装仕上げが必要な場合にはスプレー塗装をおすすめします。また、ローラー塗装を行った場合、塗装時の泡を巻き込んで塗膜に残ることがあります。

下塗塗料にてローラー塗装する場合は無泡ローラーをご使用下さい。上塗塗料はローラー塗装禁止となります。

養生期間

塗装終了後7日以上養生期間を置いて下さい。期間中に10℃以下になる様な場合で、没水部分や石油製品などに浸漬される部分についてはさらに延長して下さい。

希釈および器具の洗浄

希釈と使用器具の洗浄には、必ずエポニックスシンナーAを使用して下さい。一度硬化すると、シンナーでは溶解しなくなります。

その他

エポキシ樹脂、硬化剤などが直接皮膚に付着すると、かぶれなどを引き起こすことがありますので、取扱いには十分に注意して下さい。皮膚についた時はまずシンナーで洗い落とし、次いで石けん水で洗って下さい。

エポニックス#10 上塗

1. 塗料性状

項目		内容			
容姿		二液性			
容量		16kgセット (主剤12.8kg、硬化剤3.2kg) 4kgセット (主剤 3.2kg、硬化剤0.8kg)			
色相		白・各色			
光沢		つや有り			
密度 (23℃)	塗料	1.27			
	揮発分	0.85			
粘度 (23℃)		67KU			
加熱残分		61%			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	指触	3時間	1時間	30分	20分
	半硬化	24時間	8時間	6時間	4時間
標準膜厚		30 μm/回			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界(下限～上限)		SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

2. 塗装基準

項目		内容			
下地処理		—			
調合法		主剤 80部、硬化剤 20部(重量比)			
可使用時間	5℃	20℃	30℃	40℃	
	48時間	24時間	12時間	4時間	
使用シンナー		エポニックスシンナーA			
塗装法	塗装方法	刷毛		エアレス	
	希釈率	0～5%		5～10%	
	標準使用量	0.12kg/m ² /回		0.16kg/m ² /回	
	標準膜厚	30 μm/回		30 μm/回	
	ウエット管理膜厚	100 μm/回		100 μm/回	
エアレス塗装条件		1次圧0.4MPa(4kg/cm ²)以上、2次圧12MPa(120kg/cm ²)以上 チップNo.163-515～715			
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	最小	24時間	16時間	12時間	10時間
	最大	14日	7日	7日	5日

注) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装条件によって異なります。
※ 本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

3. 関連法規

	主剤	硬化剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

「エポニックス#10 上塗」塗膜性能

化学的性能(耐薬品性試験)

5%苛性ソーダ	1ヶ月後異常なし
5%アンモニア水	1ヶ月後異常なし
5%食塩水	1ヶ年後異常なし
水道水	1ヶ年後異常なし
塩水噴霧試験	1000時間後異常なし

上記の試験結果はサンドブラスト鋼板を使用し、エポニックス#10下塗4回(120 μm)、エポニックス#10上塗白3回(90 μm)合計210 μmの塗膜を7日間乾燥させ試験しました。(貯蔵タンク内面に塗装する場合には、エポニックス#310 DVシステムを推奨します。)

物理的性能

屈曲試験(3 mm φ)	合格
基盤目試験	100/100
エリクセン試験	8 mm以上
衝撃試験(1/2"×500g×50cm)	合格

上記の試験結果は磨軟鋼板を使用し、エポニックス#10上塗白1回(30 μm)の塗膜を7日間乾燥させ試験しました。

エポニックス#10 下塗

エポニックス#10 クリヤー

1. 塗料性状

項目		内容			
容姿		二液性			
容量		16kgセット (主剤12.8kg、硬化剤3.2kg) 4kgセット (主剤3.2kg、硬化剤0.8kg)			
色相		赤さび色・ねずみ色・白*			
光沢		つや消し			
密度 (23℃)	塗料	1.35			
	揮発分	0.85			
粘度 (23℃)		80KU			
加熱残分		67%			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	指触	3時間	1時間	30分	20分
	半硬化	24時間	8時間	4時間	2時間
標準膜厚		30μm/回			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。
*白については16kgセットのみです。

2. 塗装基準

項目		内容			
下地処理		ブラスト ISO-Sa2½ (SSPC-SP10)			
調合法		主剤 80部、硬化剤 20部 (重量比)			
可使時間		5℃	20℃	30℃	40℃
		48時間	24時間	12時間	4時間
使用シンナー		エポニックスシンナーA			
塗装法	塗装方法	刷毛		エアレス	
	希釈率	0~5%		0~10%	
	標準使用量	0.11kg/m ² /回		0.15kg/m ² /回	
	標準膜厚	30μm/回		30μm/回	
	ウエット管理膜厚	75μm/回		75μm/回	
エアレス塗装条件		1次圧0.4MPa(4kg/cm ²)以上、2次圧12MPa(120kg/cm ²)以上 チップNo.163-515~715			
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	最小	24時間	12時間	8時間	6時間
	最大	14日	7日	7日	5日

注) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装条件によって異なります。
※ 本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

3. 関連法規

	主剤	硬化剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

1. 塗料性状

項目		内容			
容姿		二液性			
容量		16kgセット (主剤8kg、硬化剤8kg)			
色相		クリヤー			
光沢		つや有り			
密度 (23℃)	塗料	0.95			
	揮発分	0.85			
粘度 (23℃)		38秒 (フォードカップ#4)			
加熱残分		44%			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	指触	3時間	1時間	30分	20分
	半硬化	24時間	8時間	6時間	4時間
標準膜厚		—			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

2. 塗装基準

項目		内容			
下地処理		コンクリート面：pH10以下、含水率10%以下			
調合法		主剤 50部、硬化剤 50部 (重量比)			
可使時間		5℃	20℃	30℃	40℃
		48時間	24時間	12時間	4時間
使用シンナー		エポニックスシンナーA			
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー			
	希釈率	30~50% (シーラーコートとして使用の場合)			
	標準使用量	0.17kg/m ² /回			
	標準膜厚	—			
	ウエット管理膜厚	—			
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	最小	24時間	16時間	12時間	10時間
	最大	10日	7日	7日	5日

注) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装条件によって異なります。
※ 本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

3. 関連法規

	主剤	硬化剤
危険物表示	第4類第1石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

エポニックス#10 上塗シルバー

1. 塗料性状

項目		内容			
容姿		三液性			
容量		16kgセット (主剤6.4kg、硬化剤6.4kg、アルミペースト3.2kg)			
色相		シルバー			
光沢		5分つや			
密度 (23℃)	塗料	1.10			
	揮発分	0.85			
粘度(23℃)		60KU			
加熱残分		49%			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	指触	3時間	1時間	30分	20分
	半硬化	24時間	8時間	6時間	4時間
標準膜厚		20μm/回			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

2. 塗装基準

項目		内容			
下地処理		-			
調合法		主剤40部、硬化剤40部、アルミペースト20部(重量比)			
可使時間	5℃	20℃	30℃	40℃	
	12時間	8時間	4時間	2時間	
使用シンナー		エポニックスシンナーA			
塗装法	塗装方法	刷毛		エアレス	
	希釈率	0~5%		0~10%	
	標準使用量	0.08kg/m ² /回		0.10kg/m ² /回	
	標準膜厚	20μm/回		20μm/回	
	ウエット管理膜厚	50μm/回		50μm/回	
エアレス塗装条件		1次圧0.4MPa(4kg/cm ²)以上、2次圧12MPa(120kg/cm ²)以上 チップNo.163-515~715			
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	最小	24時間	16時間	12時間	10時間
	最大	14日	7日	7日	7日

注) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装条件によって異なります。
※ 本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

3. 関連法規

	主剤	硬化剤	アルミペースト
危険物表示	第4類第1石油類	第4類第2石油類	指定可燃物
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照	SDS参照
劇物表示	-	-	-

使用上の注意

引火性の液体等で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

※詳細な内容が必要な時は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

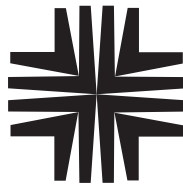
1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護メガネ、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーガストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 指定された以外の商品と混合しないで下さい。
10. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
11. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
6. 作業着等に付着した時には、その汚れをよく落として下さい。
7. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

⑥⑦⑫

※本カタログに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。



DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052	東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012	札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011	仙台市若林区六丁の目西町8-1 (喜喜センタービル)
北関東営業所 ☎0480-26-5111 ☎346-0003	埼玉県久喜市久喜中央1丁目5-18 (辻屋ビル)
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912	新潟市中央区南笹口1-1-54 (日生南笹口ビル)
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015	千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見ハイネスビル)
神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233	神奈川県横浜市中央区産沼台1-7-7 (トラス・テック相模原ビル)
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857	静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)

●西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081	大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022	名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
富山営業所 ☎076-444-5260 ☎930-0005	富山市新桜町6-15 (Toyama Sakuraビル)
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085	京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1 (京都山科ビル)
姫路出張所 ☎079-226-5727 ☎670-0965	兵庫県姫路市東延末1-1 (姫路NKビル)
岡山営業所 ☎086-214-1852 ☎700-0034	岡山市北区高柳東町10-30
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802	広島市南区大州3-4-1
高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075	高松市多肥下町1511-1 (サンフラワー通り東ビル1)
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317	福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 い-ないろ <https://www.dnt.co.jp/>